

## ◆TQM奨励賞 2020◆

### 河野光学レンズ(株)

#### 受賞にあたって

河野光学レンズ株式会社は1869(明治2)年にランプの火屋(ほや：ガラス製の筒)の加工を業とした「加賀定」の創業に始まり、昭和に入り光学硝子レンズのプレス加工を始め、1957(昭和32年)に設立しました。現在、光学硝子製のレンズ・プリズムの生産に携わっており、同一敷地内でプレス加工から研磨・蒸着・組立加工までできる国内唯一の一貫生産工場の会社として成長を続け、昨年2019年には創業150周年を迎えることが出来ました。

当社は経営理念に「信頼・改革・貢献」を、経営ビジョンに「お客様や社員との信頼関係を常に築き、あらゆるニーズに対応する意識と技術を持ち、社会への貢献と社員の幸福を追求する」を掲げております。そして、4つの経営方針を挙げました。

- ・お客様の声にお応えするべく、やればできるの精神で技術革新を推進する。
- ・社員自ら、何ができるか考え、筋肉質な企業体質を構築する。
- ・地域環境に貢献するための活動に自主的・積極的に取り組む。
- ・計画的な人財育成とダイバーシティを推進する。

これらTQM活動の一環として、技術開発・人財育成に注力してまいりました。当社の主要加工機のいくつかは社内で作成しておりますが、地元企業と協力し新生産技術の開発に成功し、高精度・高生産性と着実な効果を上げることが出来ました。人財育成については、新人教育・階級教育・力量教育・多能工化活動・外部講習やインストラクター制度の導入により、社員を大事な財産として育て上げる仕組みにいたしました。

レンズは、医療関連機器、FA関連、半導体関連など多岐に渡る分野で多用され、当社はその一翼を担っております。昨今の傾向として、短納期、高品質化が要求されており、これに対応すべく日々の精進をし、社会貢献に努めていきます。

所在地：東京都葛飾区

#### 受賞理由

河野光学レンズ株式会社(以下、同社)は、医療機器、カメラ、監視・測定機器用レンズの加工を行っている。同社のTQMの特徴は、あらゆる経営活動を「人づくり」に集約している点。あらゆる場を活用して会社方針を全従業員へ浸透させている点。工程における製造設備と検査工程での高精度検査機器の自社開発にこだわり、極めて厳しい医療分野における市場不良率を継続的に低減し、一貫生産体制の維持・強化を支える生産技術を開発・強化できている点。「簡単な改善」と、「わたしの提案」と「小集団活動(QCサークル)」を仕組み化している点である。これらの結果、工程内不良率、市場不良率の低減が得られ、前年比売上指数が減少したにもかかわらず利益指数はここ数年大きく伸長している。